いまなんじ（とけいの　よみかた）

とけいの　すうじを　みてみよう

まずは、とけいを　みてみよう。
とけいには、１から１２までの　すうじが　かいてあるね。

「いちにち」は、２４の「じかん」に　わかれているんだ。

いちにちの　スタートは、みんなが　ねている　まよなかの　０じ。
そこから　１じ、２じ、３じ・・・と　じかんが　たっていくよ。

みんなが　おきるころが　７じごろかな。
そして、がっこうに　いくのが　８じくらい。
きゅうしょくを　たべるのが　１２じ　くらいだね。

１２じの　つぎは　どうなるかというと、また　１じに　もどって　しまうね。

でも、おなじ　１じでも、こんどは　「おひるの　１じ」という　ことなんだ。

そして、また　２じ、３じ・・・と　じかんが　たって、６じくらいになると、そとが　くらくなってきて、よるごはんを　たべたりするね。

９じぐらいには　みんなは　ねてしまうんじゃないかな。

みんなが　ねたあとも、じかんは　すぎて、１０じ、１１じが　すぎて・・
０じになると、つぎの　ひが　スタートするんだ。

１から１２までを　２かい　すすむのと、ちょうど　いちにちの「２４じかん」が　すぎることになるね。

だから、とけいには　１から１２までの　すうじが　かいてあるんだね。

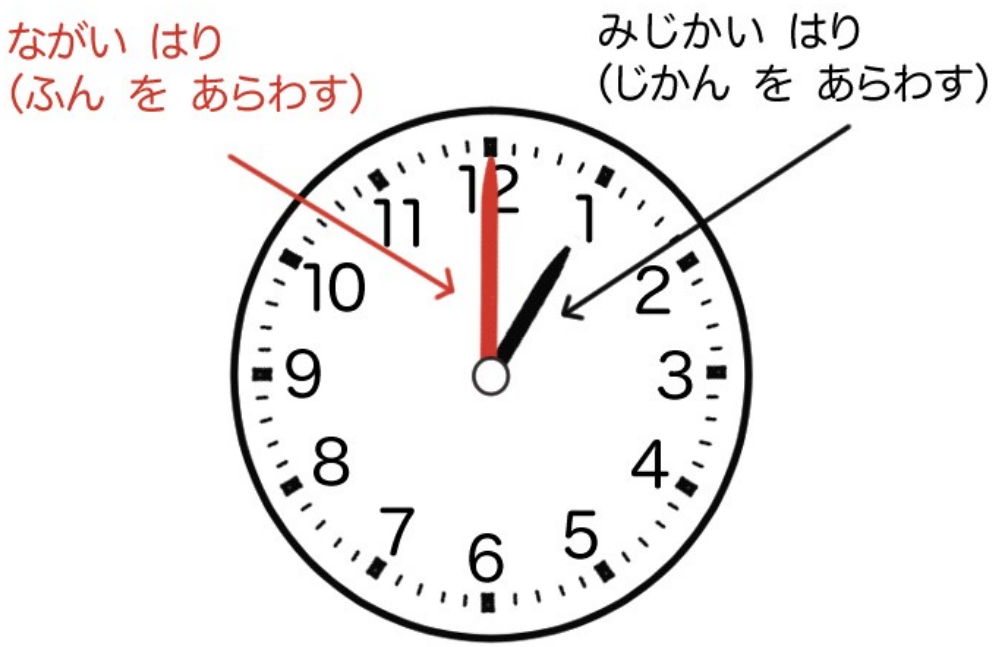
ながいはりと　みじかいはりを　みてみよう

とけいには　すうじの　ほかに、ぼうのような「はり」が　２つ　あるね。

ひとつは、ながい　はりで、もうひとつは　みじかい　はりだね。

この２つの　はりは、いまが　なんじかを　あらわすために　あるんだ。

　みじかい　はりは「じかん」を　あらわしていて、ながい　はりは「ふん」を　あらわしているよ。



でも　なんじか　あらわすなら、「じかん」だけで　いいよね。
どうして「ふん」も　ひつようなのかな？

もし、「じかん」を　あらわす　はりしか　なかったら、つぎの　じかんまで、あとどのくらいなのかが　わからなく　なって　しまうよね。

　たとえば、８じに　がっこうへ　いくつもりで　あさの　７じから　じゅんびを　していたとするよ。
そのとき、８じに　なるまで　あと　どのくらいか　わからないと、きゅうに　８じに　なったりしたら　こまっちゃうよね。

　なので、つぎの　じかんまで　あと　どのくらいかを　あらわす「ふん」が　ひつようなんだ。

　「１じかん」は、「６０ぷん」と　おなじだよ。
なので、７じから　８じに　なるまでには、６０ぷん　かかるんだね。

これなら、「ふん」を　あらわす　はりが、６０このうち　どこまで　すすんだかを　みれば、８じまで　あと　どのくらいかが　わかるようになるよね。

では、「ふん」の６０こぶんは、どうやって　かぞえるのだろう？

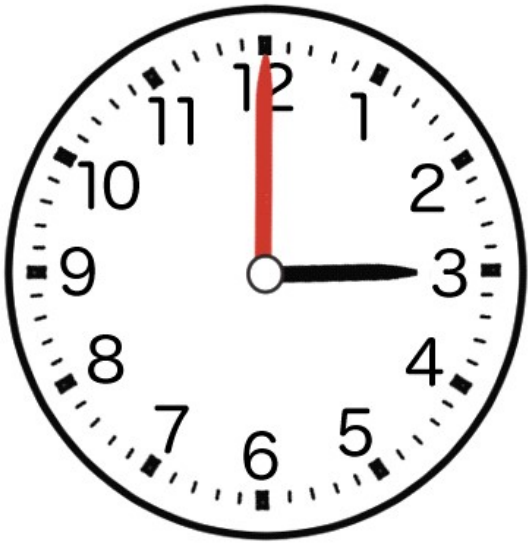
とけいに　かいてある　すうじと　すうじの　あいだには、ちいさな　せんが　４ほん　あるよ。
この　せんと　せんの　あいだを　ながいはりが　すすむまでが　１ぷんなんだ。

せんと　せんの　あいだを　かぞえると、とけいを　いっしゅうするあいだに　６０こぶんの「ふん」を　すすむことに　なるんだよ。

とけいを　よんでみよう

　それでは、じっさいに　とけいを　よんでみよう。
まずは、「あさ」か「よる」かは　かんけいなく、なんじかだけを　よんでみよう。

　みじかい　はりは　「１」を　さしているね。
ながい　はりが　「１２」を　さしているので、１じに　なったばかりだよ。
なので、これは「１じ」だよ。



みじかい　はりが　「３」、ながいはりが　「１２」を　さしているので、「３じ」だよ。

みじかい　はりが　「８」を、ながいはりが　「１２」を　さしているので、「８じ」だよ。

みじかい　はりが　「１０」を、ながい　はりが　「１２」を　さしているので、「１０じ」だよ。